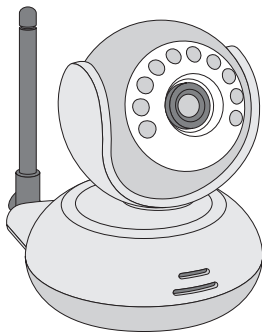
日本アンテナ

取扱説明書

2.4GHz ワイヤレスモニター

Model NSM9020

ベビー＆セキュリティー
技適マーク付で安心！

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。製品に対するご不明な点は「お客様窓口」にお問い合わせください。

子機（カメラ）
NSM9020C

親機（モニター）
NSM9020D

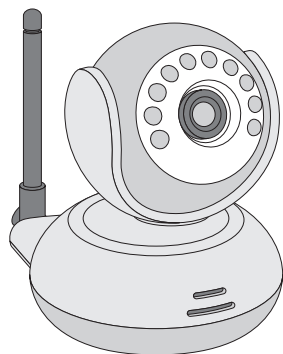
目次

	ページ
ご使用になる前に	2
安全上の注意	3
特　長	5
構成部品	5
各部の名称	6
電源の接続	7
使用方法	
メインメニュー	8
モード選択	9
セッテイ1モード	10
セッテイ2モード	11
テレビアウトモード	12
ペアリング方法	12
使用例	13
困ったときのQ&A	14
トラブルシューティング	17
使用上の注意	18
性能表	19
保証書	20

ご使用になる前に

本品は無線を利用し、離れたところを映像でモニターする装置です。
ご家庭でのお子様の様子やペットの様子などを隣接部屋から補助的にモニターすることを目的としています。
万が一のため、お子様の様子やペットの様子は直接ご確認ください。また、目的外の用途に使用しないでください。
電波の届く範囲を超えるとモニターすることはできません。電波は周りの建築物などの状況に大きく影響することがあります。

本品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1．本品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
2．万一、本品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、弊社「お客様窓口」までご連絡頂き、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3．その他、本品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社「お客様窓口」までお問い合わせください。

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
  電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると、火災・感電の原因となります。

- 万一、本品を落としたり、破損した場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店工事業者にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- ACアダプターは必ず付属のものをご使用ください。また、本ACアダプターを他の機器に使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 本品やACアダプターをあけたり、改造したりしないでください。また、本品の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。

分解禁止

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 万一、異物が本品の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 本品に水が入ったり、本品がぬれたりしないようにご注意ください。風呂場で使用したり、本品のそばに薬品や水などの入った花瓶、容器を置いたりしないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。また、雨天、降雨中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。ペットなどの生物が本品の上に乗らないようにご注意ください。排泄物や体毛が中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- コンセントにさしたままACアダプターのDCプラグに触れたり、物を接触させたりしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

●お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。故障や火災・感電の原因となることがあります。

●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●本品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

●旅行などで長期間、本品をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れの際には、ベンジン、アルコール、シンナーなどは使わないでください。塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●乾電池を使用するときは、同じ種類のものを使用し、交換の際も全て同じ種類の新しいものにしてください。違う種類や新旧の混在は故障の原因となります。

●乾電池は正しい極性（プラス／マイナスの方向）に入れてください。極性を間違えると、故障の原因となります。

●長時間、本品を使用しない場合は、乾電池を取外してください。

●子機（カメラ）はお子様やペットの手の届かないところに設置してください。子機（カメラ）のアンテナがあやまって目にあたり、けがの原因となることがあります。

●本品（親機）を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。本品にはリチウムイオン電池が使われています。

特　長

1．デジタルワイヤレスモニター
本品は2.4GHzのデジタル方式により、盗視、盗聴を防ぎ他の通信機器からの信号を避けてノイズの無いきれいな画像を伝送するワイヤレスモニターです。毎秒25フレームの画像を伝送しますのでスムーズな動きが再現されます。

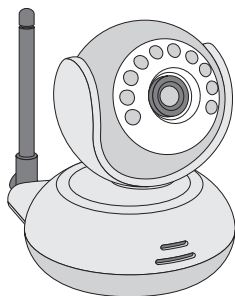
2．親機は2.4インチのカラー液晶モニターを搭載し、充電式バッテリーを内蔵していますので、電源のないところでもきれいな画像をモニターすることができます。また、通話ボタンにより子機へ話しかけることができます。
バッテリーには寿命があり、交換することができません。ACアダプターのご使用により引続きご使用いただけます。

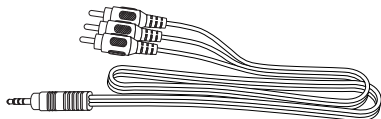
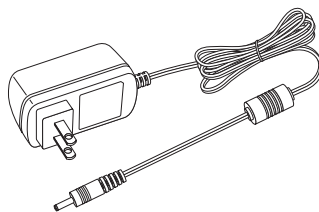
3．子機には赤外線ナイトビジョン機能を搭載していますので、夜間の暗い所でもモニターすることができます（モノクロになります）。また、高感度マイクを搭載しVOX機能（自動送話機能）により小さな声に反応して親機の画面を起動させることができます。乾電池でも使用できますので電源のない所でも利用することができます。

4．本品を複数台ご用意頂くと子機4台まで1台の親機でモニターすることができます。

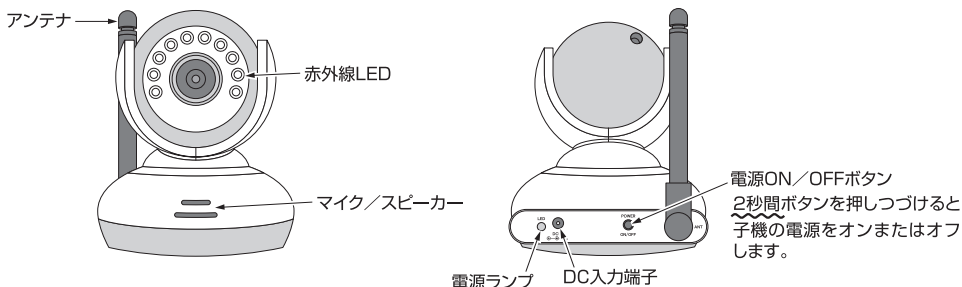
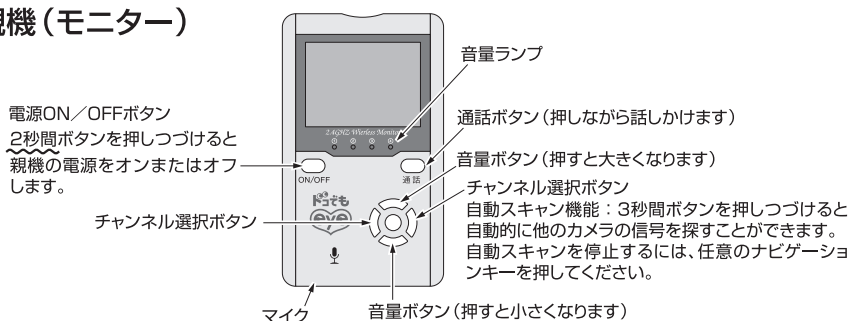
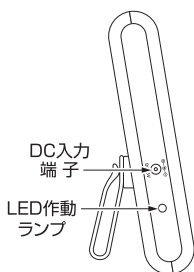
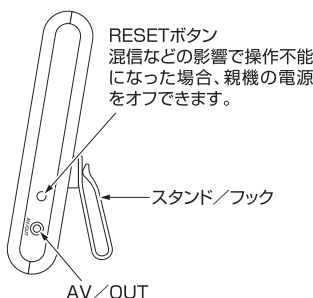
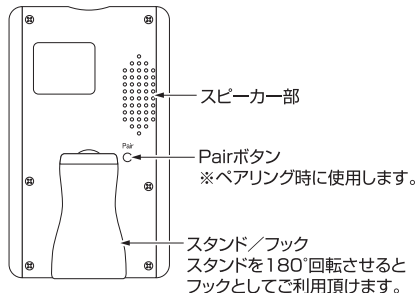
5．親機には外部出力端子を備えていますので、液晶テレビや録画機器を使用することもできます。

構成部品

●下図の部品が間違いなく入っているか、ご確認ください。

子機（カメラ）

親機（モニター）

AVケーブル
（親機をテレビにつなぐケーブル）

AC電源アダプター×2個
（親機／子機に電源を供給）

各部の名称

●子機（カメラ）

●親機（モニター）

親機電源（モニター）

バッテリーの容量が低下したときは充電してください。
バッテリーの充電状態は、画面上部に表示されるバッテリーレベルをご確認ください。

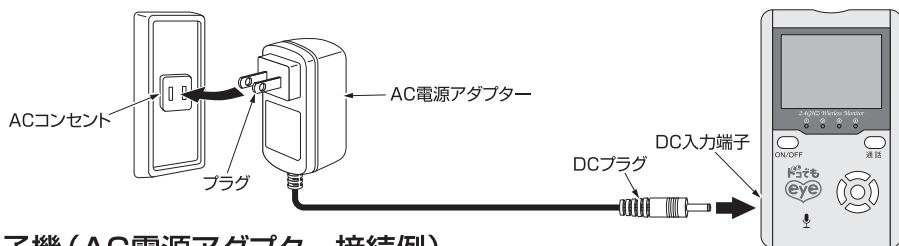
子機電源（カメラ）

カメラの電源はAC電源アダプターか単4形乾電池（3本）で作動します。
連続使用時はAC電源アダプターをお使いいただくことをお勧め致します。

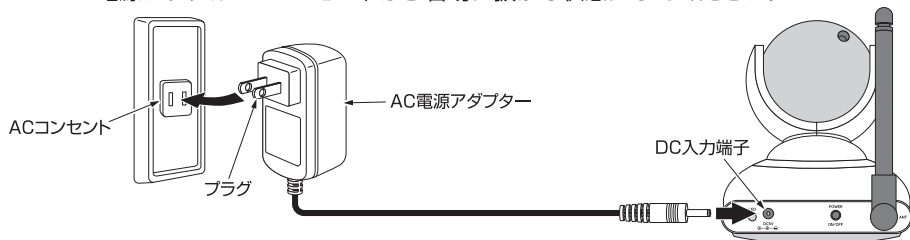
電源の接続

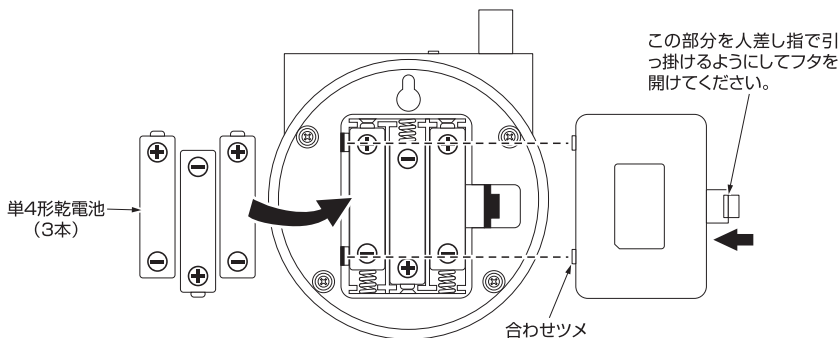
●親機（AC電源アダプター接続例）充電時

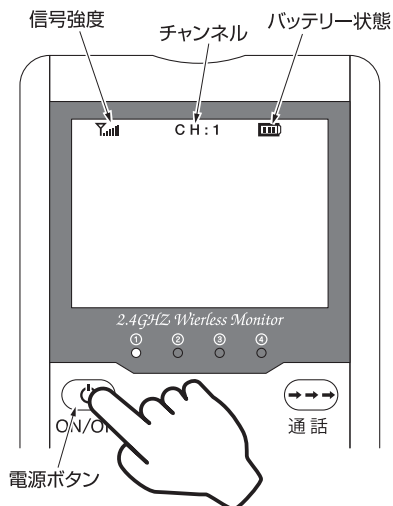
図のように親機AC電源アダプターのプラグをお近くのコンセントに差込みます。
AC電源アダプターのDCプラグはDC入力端子に差し込んでください。AV/OUT端子に差し込むと充電できません。
電池の残量がゼロの場合、満充電には約4時間程度かかります。

※1　同梱されているAC電源アダプター以外は絶対に使用しないでください。
※2　AC電源プラグはACコンセントから容易に抜ける状態にしてください。

●子機（AC電源アダプター接続例）

1. 図のように子機と付属のAC電源アダプターを接続し、コンセントに差込んでください。
2. AC電源アダプターでのご使用時には必ず電池を抜いてご使用ください。

※1　同梱されているAC電源アダプター以外は絶対に使用しないでください。
※2　AC電源プラグはACコンセントから容易に抜ける状態にしてください。

●子機（単4形電池×3本）駆動時

図のように電池ボックスに乾電池の「+」「−」の向きを確認して3本の乾電池（単4形乾電池）を入れてください。2個のツメを合わせてフタを閉めてください。

●乾電池駆動作動時間（連続使用時）
アルカリ乾電池（約2時間）／マンガン乾電池（約1時間）

使用方法

親機にACアダプターを、子機に乾電池を入れるかACアダプターを接続し、子機⇒親機の順に電源ボタンを2秒間押しつづけてください。
オープニング画面が現れた後、信号強度、チャンネル、バッテリー状態が液晶モニター上部に表示されます。同時にモニターには子機からの映像が映し出されます。

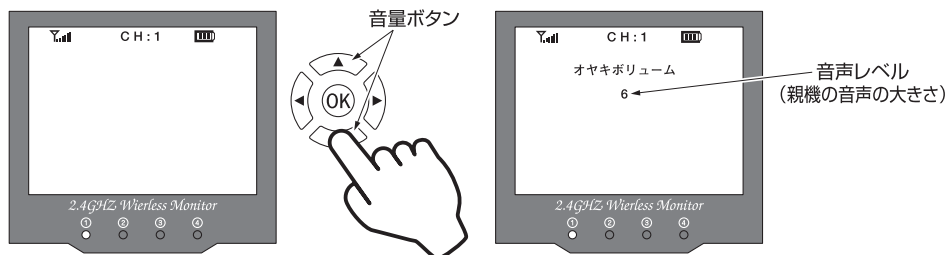
●初めて使用するとき、過去数ヶ月間使用されていない場合は使用前に親機を充電してください。

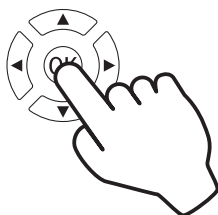
●信号強度表示

アンテナ表示	状　態
(強)	強　　い
(弱)	弱　　い
(なし)	受信不能

※モニターするときは電波の強さをご確認ください。

●親機の音量（ボリューム）調整方法

画面にメニュー画面が出ていない状態で音量ボタンを押します。音量ボタン（上下方向）を押すと音量が調整できます。音量は0〜9の範囲で調整できます。（出荷時の音量設定：6）

※親機・子機の電源を入れた際に互いの距離が近いとハウリングして親機から勝手に高音が出てしまうことがあります。もし、ハウリングしてしまう場合には互いの距離を離すか、親機の音量（ボリューム）を小さくして、ハウリングが起らないように調整してください。音量ボタン（下方向）を押すと音量が小さくなります。

メインメニュー

メインメニューを表示するには「OK」ボタンを押してください。

ズームインモード

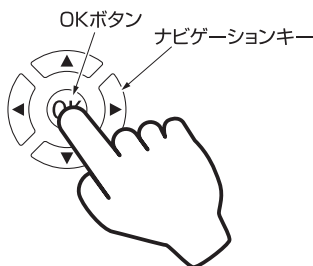
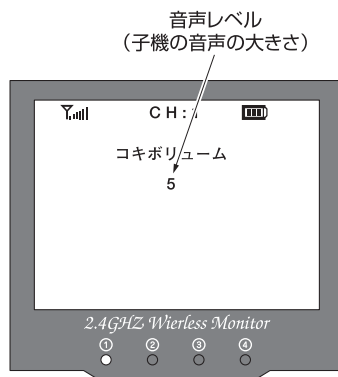
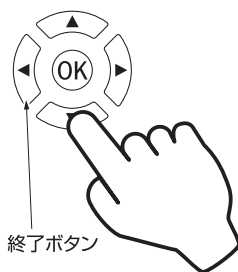
コキボリュームモード

セッテイ1モード

セッテイ2モード

TVアウトモード

モードの選択

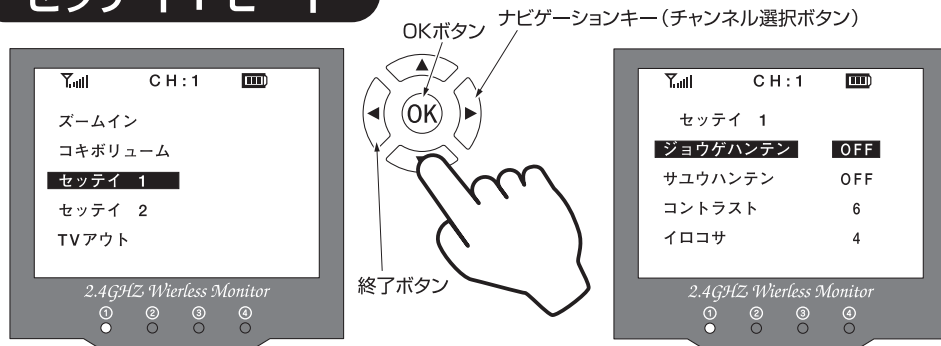
●ズームイン／ズームアウトモード

●子機ボリュームモード

「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押してコキボリュームモードを選択します。

「OK」ボタンを押すと、音声のレベルが0～9の数字で表示されますのでナビゲーションキーの上下ボタンを押して調整してください。

「OK」ボタンを押すと音量レベルが確定できます。

モードを終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。

使用方法

セッテイ1モード

1．上下反転モード

「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「セッテイ1」を選択します。
上下反転させるためにはナビゲーションキーの右ボタンを押して画像を反転させ、「OK」ボタンを押してください。
終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。

2．左右反転モード

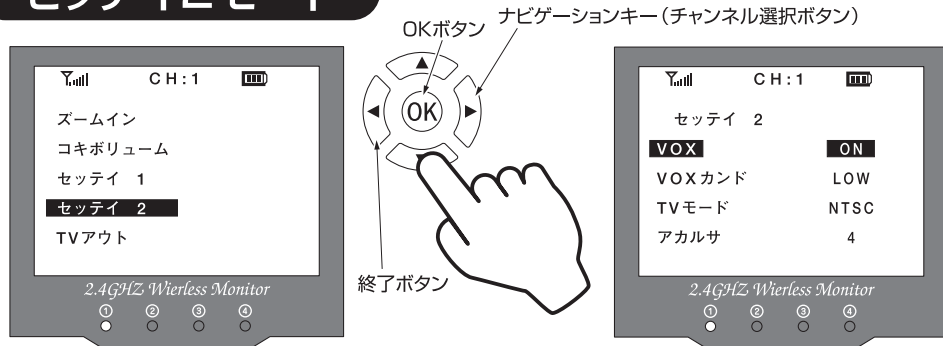
「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「セッテイ1」を選択します。
ナビゲーションキーの下ボタンを押して「サユウハンテン」を選択します。
左右反転させるためにはナビゲーションキーの右ボタンを押して画像を反転させ、「OK」ボタンを押してください。
終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。

3．コントラストモード

「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「セッテイ1」を選択します。
ナビゲーションキーの下ボタンを押して「コントラスト」を選択します。
コントラストのレベルが0～8の数字で表示されますのでナビゲーションキーの左右ボタンを押して調整し、「OK」ボタンを押してください。
終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。

4．色の濃さモード

「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「セッテイ1」を選択します。
ナビゲーションキーの下ボタンを押して「イロコサ」を選択します。
色の濃さのレベルが0～6の数字で表示されますのでナビゲーションキーの左右ボタンを押して調整し、「OK」ボタンを押してください。
終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。

セッテイ2モード

1．音声センサーモード（VOX）

「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「セッテイ2」を選択します。
ナビゲーションキーの下ボタンを押して「VOX」を選択します。
ＶＯＸ機能を有効にするためにはナビゲーションキーの右ボタンを押して、「ON」表示にし、「OK」ボタンを押してください。
終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。
VOX機能が有効な場合、親機の液晶画面は音声を検出しないときにスリープモードに入りオフとなります。子機が音声を検出すると親機モニターの液晶画面は自動でオンになります。

2．VOX感度調整モード

「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「セッテイ2」を選択します。
ナビゲーションキーの下ボタンを押して「VOXカンド」を選択します。
VOX感度を切換えるためにはナビゲーションキーの右ボタンを押して、「LOW」または「HI」表示にし、「OK」ボタンを押してください。
終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。

3．TVモード

「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「セッテイ2」を選択します。
ナビゲーションキーの下ボタンを押して「TVモード」を選択します。
TVモード「NTSC/PAL」を切換えるためにはナビゲーションキーの右ボタンを押して、「NTSC」または「PAL」表示にし、「OK」ボタンを押してください。
終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。
通常はNTSCモードにしてください。

4．液晶明るさ調整モード

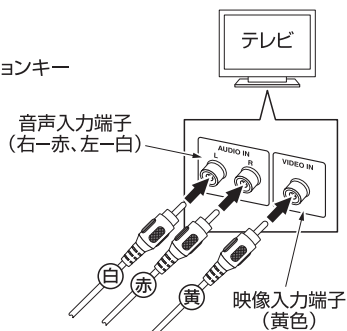
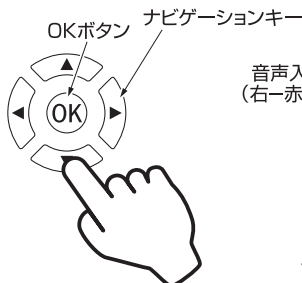
「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「セッテイ2」を選択します。
ナビゲーションキーの下ボタンを押して「アカルサ」を選択します。
明るさが0〜4の数字で表示されますのでナビゲーションキーの左右ボタンを押して調整し、「OK」ボタンを押してください。
終了するには、ナビゲーションキーの左ボタンを押してください。

使用方法

テレビアウトモード

CH:1
ズームイン
コキボリューム
セッテイ 1
セッテイ 2
TVアウト
2.4GHZ Wierless Monitor

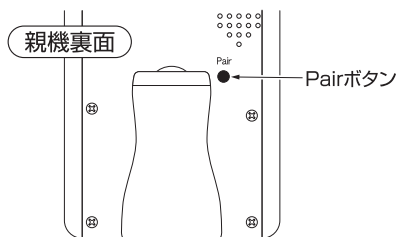
OKボタン
ナビゲーションキー
OK

テレビ
音声入力端子
（右ー赤、左ー白）
AUDIO IN
L R
VIDEO IN
白
赤
黄
映像入力端子
（黄色）

親機AV／OUT端子とテレビまたは他の液晶モニターの外部AV入力の間を付属のAVケーブルで接続してください。AVケーブルが正しい色（黄⇒映像、白・赤⇒音声）で接続されたことを確認します。
「OK」ボタンを押しメインメニューを表示させ、ナビゲーションキーの下ボタンを押して「TVアウト」を選択し「OK」ボタンを押すと親機モニターの表示が消えてTV出力に切り替わります。
このモードでは親機モニターの液晶画面は、オフになりますが、音声だけを聞くことができます。また、接続したテレビや他の液晶モニターでは、音声と映像を見ることができます。
親機に表示を戻す場合は「TVアウト」を選択し「OK」ボタンを押すと戻ります。

液晶モニターの表示が消えて何も操作ができなくなった場合は電源ボタンを押して一旦終了し、再び電源ボタンを押す（2秒間）と親機の表示に戻ります。

ペアリング方法

※ペアリングとは親機と子機の通信を可能とすることです。

親機に対し子機を登録（最大4台）することができます。
工場出荷時に同梱の親機・子機同士でペアリングされていますので通常この操作は必要ありません。

方法1

親機の裏面（上図参照）の「Pair」ボタンをピンなどで押すと、親機のLED作動ランプが点滅しペアリング状態に入ります。このときペアリングさせる子機の背面の電源ボタンを親機のLED作動ランプの点滅が止まるまで長押ししてください。親機のLED作動ランプの点滅が停止すると成功です。

方法2

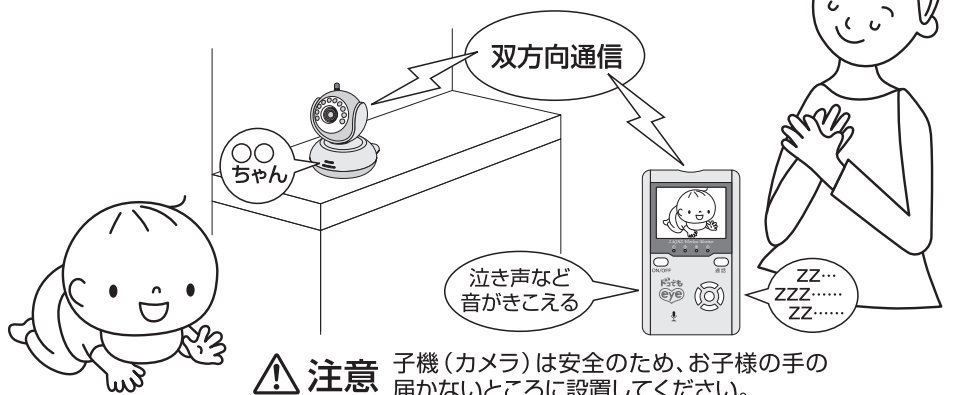
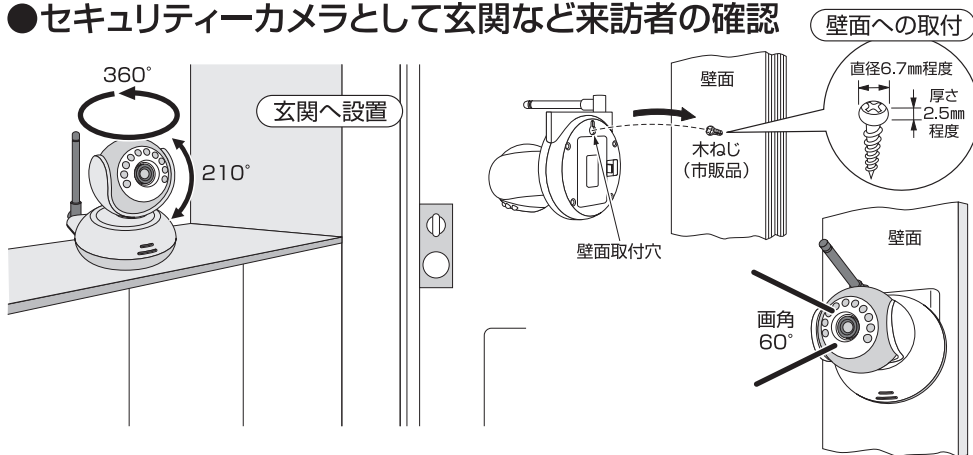
子機の背面にある電源ボタンを子機の電源ランプが点滅するまで長押しすると、ペアリング状態に入ります。この時ペアリングさせる親機の裏面（上図参照）の「Pair」ボタンをピンなどで押してください。ペアリングが成功すると子機の電源ランプの点滅が停止します。

ポイント

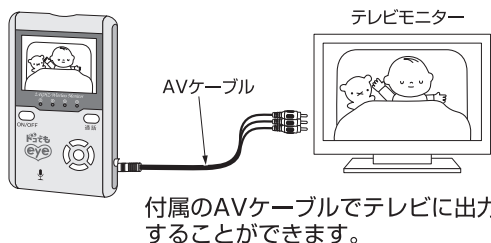
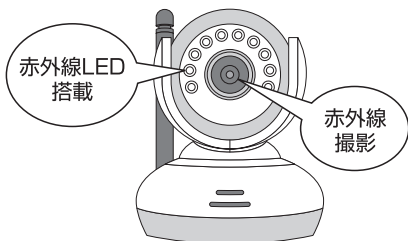
- 子機に対する設定をおこなった場合、設定は直ちに反映されますが、内容を子機に記憶させるため子機の背面にある電源ボタンで一旦OFFにする必要があります。
- 親機で複数の子機とペアリングするには、親機において左／右の◁ ▷ボタンでチャンネルを選択すると、親機画面の上部に別チャンネル（CH1〜CH4）が表示されます。上記の操作を各チャンネルごとにおこなうことで4台までペアリングができます。

使用例

●ベビー・ペット・介護者のモニタリング

⚠ 注意 子機（カメラ）は安全のため、お子様の手の届かないところに設置してください。

●セキュリティーカメラとして玄関など来訪者の確認

●赤外線ナイトビジョン

暗い室内でも赤外線LEDが点灯して自動で赤外線撮影できます。モニターでは白黒画面で見られます。

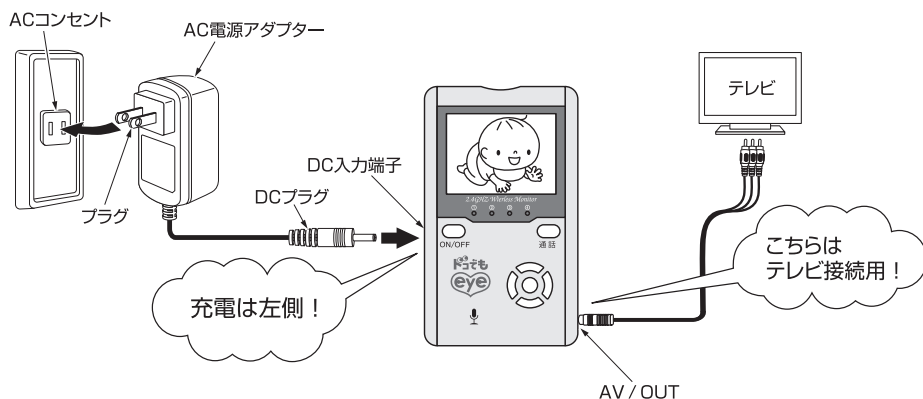
付属のAVケーブルでテレビに出力することができます。

困ったときのQ&A

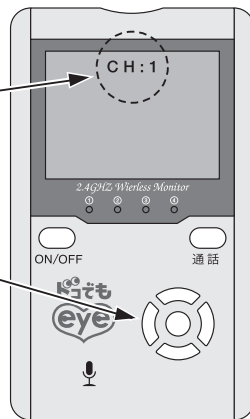
故障かなと思ったら…

Q1 子機と親機の電源を入れると、"キ〜〜!!"という音が出る。

A1 子機と親機を離して使用してください。これは、ハウリングといって、スピーカーから出る音をマイクで拾ってしまい、反響してしまう現象です。

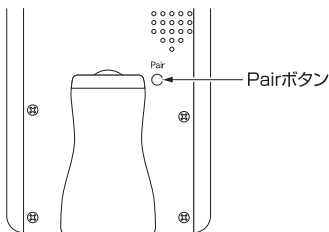
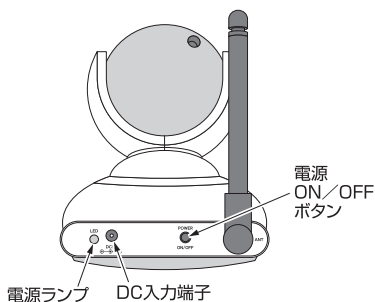
Q2 親機の充電ができない！

A2 ACアダプターの接続を間違えていませんか？
ACアダプターの接続は向かって左側になります。右側はAV出力端子です！

Q3 使用しようと思ったら画像が出ない！少し前までは使えていたのに！

A3 その1 チャンネル"CH：1"になっているかご確認ください。"CH：1"になっていないときは、チャンネル選択ボタンで"CH：1"に設定してください。

A3"その1"をやってみて映らない時は…

A3 その2 チャンネル"CH：1"でも受信できない時は、親機と子機の認識をさせる設定（ペアリング）をおこなってみてください。

※子機を最大4台まで接続できるように4つのチャンネルがあります。

親機と子機の認識設定（ペアリング）のしかた

①親機と子機を電源の切れた状態にします。

②子機の背面にある電源ボタンを **長押し** （約4秒）すると、電源ランプが点滅しペアリング待機状態になります。

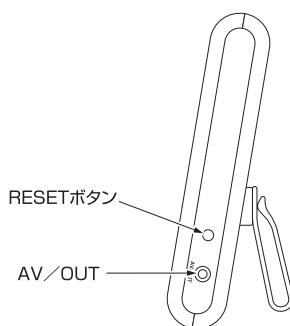
③続いて親機の電源を入れ、親機の背面の "Pair" ボタンをピンなどで押してください。ペアリングが成功すると、子機の電源ランプの点滅が停止します。これで親機と子機の認識設定は完了です。

※親機1台に対して子機を4台まで増やすことができます。（詳しくは12ページ「ペアリング方法」をご覧ください。）

Q4 親機が操作不能になった！

A4 混信などの影響で親機が操作不能になる場合があります。
その場合、親機右側面にあるRESETボタンをピンなどで押してください。
RESETボタンを押すと、親機の電源をオフすることができます。
再度電源ON／OFFボタンを押すと操作できるようになります。

●右側

トラブルシューティング

トラブル	対処方法	
映像が映らない	親機	ACアダプターは接続されているかご確認ください。 内部バッテリーの残量は十分かご確認ください。 チャンネル設定が『CH：1』になっているかご確認ください。
	子機	子機 ACアダプターは接続されているかご確認ください。 乾電池が入っているかまたは乾電池の残量は十分かご確認ください。 一旦、乾電池をはずすか、またはACアダプターを抜いてからご使用ください。
	共通	有効範囲より親機と子機が離れすぎている、または電波状況が悪い所にないかご確認ください。
ペアリングしない	共通	工場出荷時に親機・子機同士でペアリング設定されていますが、まれにペアリングが解除されて、親機と子機が認識されず、子機からの画像が映らない場合があります。もし、親機・子機の電源を入れた際にペアリングされていない場合は、取扱説明書P.12のペアリング方法で再度ペアリング設定をおこなってください。
ハウリングする	親機	親機・子機の電源を入れた際に互いの距離が近いとハウリングして親機から勝手に高音が出てしまうことがあります。 もし、ハウリングしてしまう場合には、互いの距離を離すか、親機の音量（ボリューム）を小さくして、ハウリングが起らないように調整してください。音量ボタン（下方向）を押すと音量が小さくなります。 ※ハウリングとはスピーカーから出た音をマイクが拾い、それをまたスピーカーが再生するということを繰り返し、大きな雑音が連続して発生する現象です。
声が小さい	親機	親機のナビゲーションキーの上下ボタンでボリュームを調整します。
	子機	親機のメインメニューからコキボリュームを選択し調整します。
暗い所でも子機のライトが点灯しない	子機	赤外線LEDは、暗さを検知すると自動的に点灯します。ただし赤外線なので人間の目では認識できません。
TVアウトモードでは音声は聞こえるが、映像が見えない	親機	TVアウトモードでは、親機は子機からの音声のみ受信できます。しかし、外部接続されたモニターでは音声と映像が同時に出ます。
親機の画面が波打っている	共通	子機が蛍光灯の近くにあるとき、波打つことがあります。蛍光灯から離してください。
子機が乾電池動作時に親機の画面が波打っている	子機	子機乾電池の残量は十分かご確認ください。またはACアダプターを使用してください。
子機が乾電池動作時にペアリングができない	子機	子機乾電池の残量は十分かご確認ください。またはACアダプターを使用してください。
親機が操作不能になった	親機	親機右側面にあるRESETボタンを押してください。RESETボタンを押すと、親機の電源をオフすることができます。親機の電源をオフした後に再度電源をオンにすると操作できるようになります。
親機から子機へ送話できない	親機	親機が設定モードになっている時は送話できません。設定モードを終了してください。
ズームできない	親機	TVアウトモードで外部モニターを使用した場合はズームできません。
子機の設定を変更したが内容が反映されていない	子機	子機の設定を変更した後、記憶させるために一旦スイッチをOFFしてください。コンセントを抜いてのOFFでは内容が反映されません。
親機が充電できなくなった	親機	内蔵バッテリーの寿命は約1～2年で、交換できません。 ACアダプターでご使用ください。
親機が充電できない	親機	AC電源アダプターのDCプラグがDC入力端子に差し込んであるかご確認ください。AV/OUT端子に差し込むと充電できません。

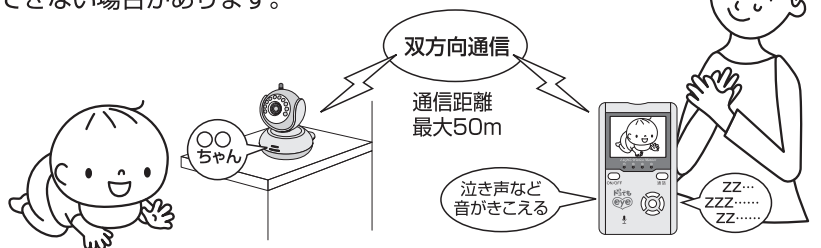
使用上の注意

本品の近くで無線を使用する機器を使うと…

同じ2.4GHz帯を利用する無線システム、たとえばコードレスホン、電子レンジ、無線LANなどを使用していると、干渉などにより通信距離が著しく短くなったり、通信ができない場合があります。

→ このような場合は、他製品の電源を切るか本品より離してご使用ください。

通信最大距離※ 50mだけど…

金属の入った断熱材を含む壁や床、コンクリートの壁、金属のドアなどの障害物のある環境では、電波が弱くなり、距離が短くなったり、通信ができない場合があります。

※通信最大距離：親機と子機の間に何もない状態での通信距離。

子機は安全のため小さなお子様の手の届かないところで!

アンテナ部は突起物のため、折れたり、壊れたりして事故の原因になる場合があります。
特に小さなお子様がいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 注意 **アンテナ部が破損した場合、送受信ができません。**

性能表

	項　目	性　能
共通	通信距離	最大50m（見通し距離）※
	周波数範囲	2400MHz−2480MHz
	送信出力電力	3mW／MHz以下
	電波拡散方式	FH
	使用温度範囲	0℃〜40℃
	使用湿度範囲	20%〜80%RH
子機（カメラ） **NSM9020C**	イメージセンサー	1／4インチCMOSセンサー
	有効画素数	628×582（PAL）510×492（NTSC）
	水平解像度	360本
	画　角	60°
	最低被写体照度	1.5Lux
	画像フレームレート	25fps
	ナイトビジョン有効レンジ	最大5m
	乾電池動作時間	約2時間（アルカリ）
	消費電流	200mA±30mA
	電源電圧	DC5Vまたは単4乾電池3本（別売）
	寸法（H×W×D）	100×86×86mm
	質　量	141g（乾電池含まず）
	工事設計認証番号	005−100002
親機（モニター） **NSM9020D**	液　晶	2.4インチTFT-LCD
	画面解像度	320×240
	ビデオ出力方式	NTSC／PAL
	内蔵バッテリー動作時間	約5時間（フル充電時、初期使用時）
	カラー	R.G.B.
	消費電流	150mA±15mA
	電源電圧	DC5V
	寸法（H×W×D）	120×70×23mm
	質　量	137g
	工事設計認証番号	005−100005

※通信距離はコンクリートの壁などの障害物があると電波が弱くなり、距離が短くなったり、通信できない場合があります。

保証書

ドコでもeye

保　証　書

型名	NSM9020	製造番号	
お客様	お名前		
	ご住所 電話番号　　（　　　）		
お買上げ日 年　月　日	取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間（お買上げ日より） 本体１年 （但し消耗品は除く）			

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。なお弊社支店・営業所・出張所は弊社ホームページをご覧ください。

〈無料修理規定〉

１．取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
①無料修理をご依頼される場合は、商品に本書を添えてお買い上げの販売店にお申し付けください。
②修理対象品を直接当社支店･営業所･出張所まで送付された場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理をおこなった場合、出張料はお客様負担とさせていただきます。

２．保証期間内でも次の場合には有料修理とさせていただきます。
①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
②お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
③火災、爆発事故、落雷、地震、噴火、水害、津波など天変地異または戦争、暴動など破壊行為による故障および損傷。
④海岸付近、温泉地などの地域における公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）など腐食性の空気環境に起因する故障および損傷。
⑤ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する故障および損傷。
⑥異常電圧、電気の供給トラブルなどに起因する故障および損傷。
⑦用途以外で使用した場合の故障および損傷。
⑧塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
⑨消耗部品の消耗に起因する故障および損傷。
⑩日本国以外で使用された場合の故障および損傷。
⑪本書のご提示がない場合。
⑫本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

３．ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合は、最寄りの弊社支店・営業所・出張所にご連絡ください。
４．本書は日本国内においてのみ有効です。
（This Warranty is valid only in Japan）
５．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については最寄りの弊社支店・営業所・出張所にお問い合わせください。

お客様窓口　0570-091039　ナビダイヤルが利用できない場合は　☎(03)3893-5243
ご利用時間　9:00～12:00 13:00～17:30（土･日･祝祭日･弊社休業日を除く）

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221（大代）
ホームページアドレス　http://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

7104331　平成25年8月改訂